

研究紀要第21号

ひとりひとりを生かす保育

—子どもの出方に即する指導性—

1984

島根大学教育学部附属幼稚園

目 次

「ひとりひとりを生かす教育」

総 論

子どもの出方に即する指導性	玄田 初榮	1
一 保育の場面場面と指導性		
I 研究主題について		1
1 主題追求の経過		1
2 これまでの研究紀要にみられる「指導性」		3
II 研究方法		3
III 研究の歩み		4
IV 保育における場面場面と指導性		5
1 「経験や活動」の構想と指導性		5
(1) 「経験や活動」の構想と手順		6
(2) 課題提示場面と指導性		6
2 「のりものごっこ」の構想と実際		7
(1) 「のりものごっこ」の足場		7
(2) 「指導計画」と実際の保育の姿		7
(3) 「本日の活動（指導案）」と実際の保育の姿		9
3 「のりものごっこ」の構想と修正		11
(1) 「指導計画」と実際の保育の姿とのずれ		12
① 「のりものごっこ」に要した日数のずれ		12
② 「のりものごっこⅠ」と「のりものごっこⅡ」		12
ア 子どもの追求の筋道を生かした「指導計画」	イ	13
(2) 「本日の活動（指導案）」と実際の保育の姿とのずれ		13
4 実際場面での教師のかかわり		14
(1) 多様な子どもへのかかわり方		15
(2) <車づくり>の活動の姿と教師の出方		16
(3) 子どもの出方にそう		16
(4) 子ども同志のかかわりを育てる		16
V 今後の課題		18

各 論

「紙をとばして遊ぶ」活動の実践から	野津 道代	19
「のりものの遊びをする」の実践から	小原也寸子	42
「どうぶつをつくって遊ぶ」活動の実践から	奥村 文子	63
「外のおうちをつくる」活動の実践から	星野 和美	93
資 料 「のりものごっこ」の活動の記録	玄田 初榮	110

